



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第11巻
第12号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第11巻第12号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1965, 11(12): 1336-1336

ISSUE DATE:

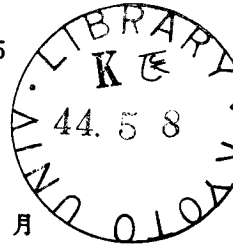
1965-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112863>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要



第 11 巻 第 12 号

昭和 40 年 12 月

随想 腎移植：夢と現実	園田 孝夫	1195
雄性副性器と脂質		
Ⅰ 前立腺分泌液並びに組織の Cholesterol 及び磷脂質に就いて	宮尾 尚敬	1197
ラット前立腺の組織化学		
Ⅱ 松果体、唾液腺、糖尿病、Vit-B ₂ 欠乏症及び精管結紮、肝臓障害の影響	福重 満	1203
雄性副性器分泌液に関する研究		
Ⅲ 人精漿の臨床的研究 (殊に男性不妊症の蛋白、糖蛋白について)	田辺 泰民	1217
精囊腺 X 線像の臨床的意義について		
第Ⅱ篇 男性性腺機能障害症における精囊腺 X 線像の内分泌学的観察	宇野 博志	1229
精囊腺 X 線像の臨床的意義について		
第Ⅲ篇 精囊腺及び隣接臓器疾患の診断への応用	宇野 博志	1245
前立腺における線維素溶解酵素に関する研究		
第3編 前立腺肥大症、癌における線維素溶解酵素について	茶幡 隆之	1262
褐色細胞腫の1治験例一特にその局在性診断と術後管理について一	渡辺 決・他	1273
女子尿道憩室の1例	徳原 正洋・西尾 徹也	1283
内分泌非活性副腎皮質癌の1例	嶺井 定一	1288
後部尿道弁膜形成の1例	前川 正信 甲野 三郎	1293
昭和39 (1964) 年度京大泌尿器科の臨床統計	稲田 務・他	1298
泌尿器科疾患における Epsilonamin の止血効果についての臨床症例報告	洞口 龍夫・他	1307
尿路感染症とエンピナーズ	岩佐 賢二・他	1312
尿路性器悪性腫瘍治療時の血液変化に対する Cepharanthin の使用経験	谷村 実一・他	1316
第3回皮膚科泌尿器科合同京阪神連合医学会特別講演記録		1324
編集後記・購読要項・投稿内規		1336
第11巻 総目次・物件索引・人名索引		

Male Accessory Sexual Organs and Lipid.

- Ⅰ Cholesterol and Phospholipid in the Prostatic Secretion and Tissue. N. Miyao...1197

Histochemistry of the Rat Prostatic Gland.

- Ⅱ Influences of the Pineal Body, Salivary Glands, Alloxan Diabetes, Vitamin B₂ Deficiency, Ligation of the Seminal Ducts and Liver Damages. M. Fukushima...1203

Studies on Male Adnexal Fluid.

- Ⅲ Clinical Studies on Seminal Plasma in Men. (With a Special Reference to Protein, Glucoprotein in Male Sterility) Y. Tanabe...1217
- Clinical Evaluation of Seminal Vesiculogram.
- Part II Endocrinological Observation of the Seminal Vesiculogram in Male Sexual Disturbances. H. Uno...1229

Clinical Evaluation of Seminal Vesiculogram.

- Part III Diagnostical Value of Seminal Vesiculogram for Lesion of Seminal Vesicles and it's Adjacent Organs. H. Uno...1245

Studies on Fibrinolytic Enzymes in the Prostatic Gland.

- Ⅲ Studies on Fibrinolytic Enzymes in Patients with Hypertrophy and Cancer of the Prostatic Gland. T. Chabata...1262
- A Case of Pheochromocytoma: With a Special Reference to its Localization and Postoperative Management. H. Watanabe et al...1273

Diverticulum of the Female Urethra: Report of a Case.

- M. Tokuhara and T. Nishio...1283

Nonfunctioning Adreno-Cortical Carcinoma: Report of a Case.

- T. Minei...1288

A Case of Posterior Urethral Valve. M. Maekawa and S. Kono...1293

- Clinical Statistics on Patients, Operations and Main Urological Examinations in the Department of Urology, Kyoto University. T. Inada et al...1298

Effect of Epsilonamin on Urological Diseases: A Clinical Report. T. Horaguchi et al...1307

- Clinical Evaluation of "Empynase": A Proteolytic Enzyme, in the Treatment of Urinary Tract Infections. K. Iwasa et al...1312

- Use of "Cepharanthin" for the Hematological Changes during Treatment in Malignant Neoplasm of the Urogenital System. J. Tanimura et al...1316

Index of Vol. 11

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor: Prof. Tsutomu INADA

編集後記

病院長ト云ウ事ニ就テ考エテミヨウ。大学病院等ノ院長ハ 専門科ガ何デアルカニハ無関係ニ選考セラレルガ 一般ノ綜合病院等ニテハ 院長ハ 内科トカ外科トカ 所謂大キナ臨床科ノ中カラ選バレル事ガ多イ。又 院長ガ内科ナラバ 副院長ハ外科ト云ウヨウナ形モアル。コレニハワケモアル。内科等ニハ医師ノ数ガ多イカラ 適任者モ多イデアロウ。又 病院ノ立場カラ云エバ 院長ハ病院ノ看板トモ云エルノデ 患者ノ多イ内科ヤ外科ノ先生ヲ院長ニスルト云ウ事情モアル。従ツテ 大キナ臨床科カラ 院長ガ多ク実現スルノハ当然デアル。私ノ云イタイノハ モシソレガ原則的ナ不文律ニナルナラバ 疑問ガアルト云ウ事デアル。院長ハ 内科トカ外科トカデナケレバナラヌヨウニ考エテハナラヌト云ウ事デアル。近頃ノ院長ニハ 甚ダ多クノ院務 雑用ガアリ ムシロ院務ニ専念セネバナラヌ程デアル。ソノ点カラ云エバ 患者ノ多イ大キナ臨床科ヨリモ 小臨床科ノ医師ノ方ガ適当トモ云エル。更ニ重要ナ事ハ 人物本位ト云ウ事デアロウ。臨床科ノ大小ト云ウ事デハナクテ 院長トシテ適当ナ人物デアルカ否カニ重点ヲ置クベキデアロウ。今マデハ大体ニ 小臨床科ノ医師ハ院長ニナリニクカッタノデ 何トナク活氣モ出ナカッタノデハナカロウカ。ソレガ次第ニヨツテハ 小臨床科ノ医師デモ院長ニナレルト云ウ事ニナレバ心境モ変ツテクルノデハナカロウカ。泌尿器科ハ小科デアルノデ コノ問題ニハ大イニ関係ガアル。然シ コレヲコニ論ズルノハ 単ニ泌尿器科ノタメダケデハナイ。一ツノ道理ヲ述ベタノデアル。

ツイデニ 大学病院ノ院長ニ就イテモ考エテミヨウ 近頃ハ院長トシテノ雑務ガ多クナツタヨウダ。現職ノ臨床教授ガ兼任スルノハ無理ナ程デアル。然シ事務官僚ノ院長ニスル事モ 現在デハ困難デアロウ。任期ハ種々ダガ 1期2年デ 2期勤メル事ガ出来ルト云ウノガ多イヨウダ。2年デハ院務ニ精通スル事ハ出来ヌ。マンテヤ 名誉職ノ意味デ 次々ニ交代スルノモ感心出来ヌ。4年モ勤メルト 教授ノ本務ニモ差シツカエル。専任院長制ガヨイト思ウガ 現実的ニハ簡単デハナイ。60才近クナツタ教授ノ中カラ専任院長ヲ募ル。ソノ人ハ教授ヲ辞任スル。然シ ソノ人ノ官制上ノ身分ハ何カ等ノ問題モアル。ソレハ トモ角 現在ノ院長ハ官僚ノ ロボットデアル。コレヲ何トカセネバナラヌ。

(昭和40年12月)

購読要項

△購読料改定のお知らせ：昭和41年度第12巻より、年間購読料金1,500円、1冊料金150円に改定いたしますので、よろしくお願します。

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要, 1:110, 昭30. 2) Lazarus, J. A. J. Urol., 45:527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。